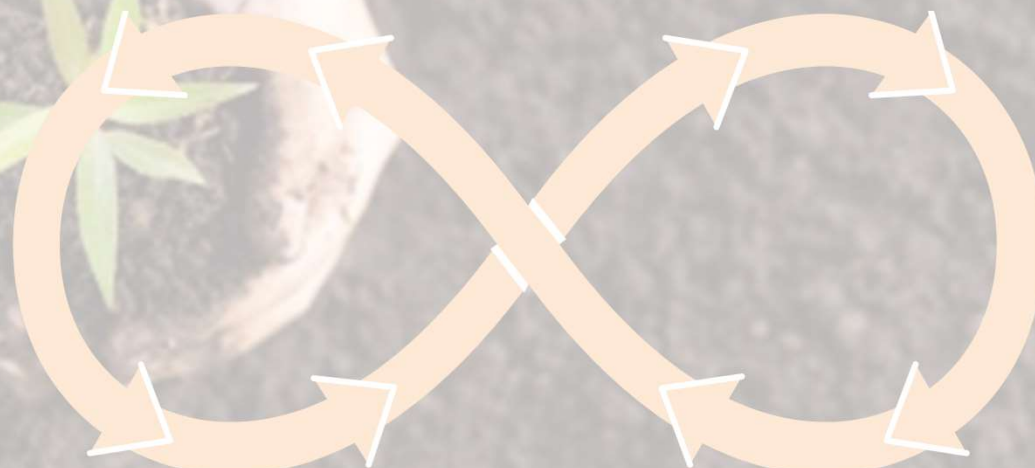


×CURETEX®循環型未来共創プロジェクト ビジネスモデルのご提案

土から生まれて土に還る



捨てずに“活かす”独自の循環システム

株式会社キュアテックス

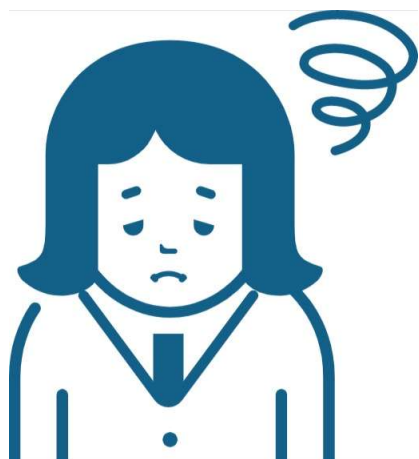
〈CURETEX®〉 循環型未来共創プロジェクトとは



キュアテックス独自の製法で作られる和紙糸〈CURETEX®〉の特性を活かした独自の循環型スキームです。

〈CURETEX®〉は、短期間で土に還り、微生物の活性化を促す素材。製造時に発生する残布や使用済み品などを回収して、土壌改良に活用します。

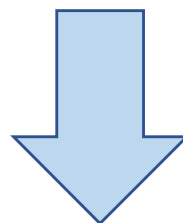
農薬に頼らずに安全で栄養価の高い野菜を栽培し、ハラル・ヴィーガンなど食の多様性に配慮した食品に加工することで豊かな食と健康的な生活に貢献します。



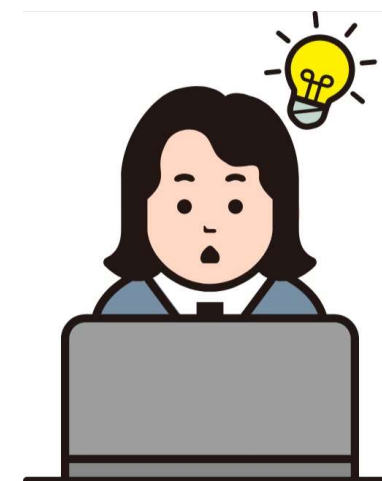
何から取り組んでいいのかわからない

普段の業務で手一杯、そこまで手が回らない

SDGsのための予算を確保できない



身近なものを〈CURETEX®〉
製品に替えるだけで、
気軽にアクションを起こせます！



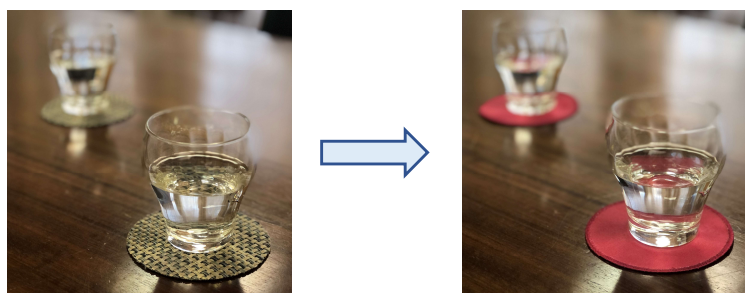
〈CURETEX®〉を活用したビジネスモデル：STEP1



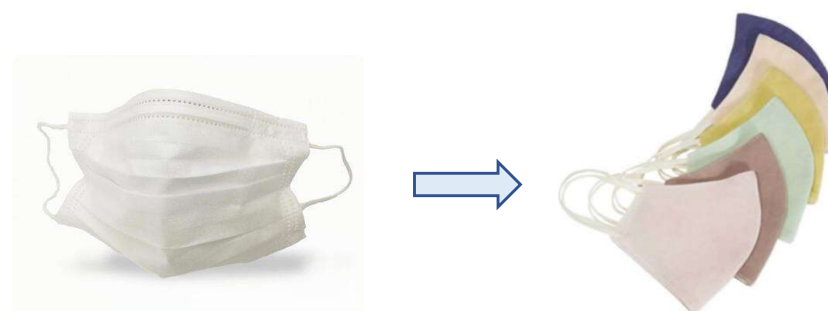
店舗・オフィス用品を、サステナブルな〈CURETEX®〉製品に替えるだけ

現在お使いいただいている様々なアイテムを一般的な繊維製品・プラスチック製品から、サステナブルな素材である〈CURETEX®〉製品に替えていただくだけで、貴社へユニークなSDGs取り組みを提供し、かつ従業員の手間や負担を減らすことが可能です。

Ex.1)コースター



Ex.2)マスク



導入したその日からSDGs

〈CURETEX®〉は優れた生分解性を持ち、他の繊維より格段に速く、わずか数か月で生分解して土に還ります。実際にご使用いただくアイテムはもちろん、ご依頼いただいたアイテムの製造過程で発生する余り布も生分解性を持ちます。サステナブルな素材から作られる、環境に配慮した生産段階を踏んだ製品をご提供しますので、〈CURETEX®〉を導入したその日から、SDGsの取組を実現いたします。

〈CURETEX®〉を活用したビジネスモデル：STEP1



対象となるアイテム類

貴社が事務所・生産現場・店舗等で使用している、布や化学繊維から作られた製品が対象です。

「こんなものを〈CURETEX®〉で代用してみたいんだけど」というご要望もお待ちしております。

導入事例

ホテル・飲食店

- ・ベッドリネン（シーツ、ピローケース、ブランケットなど）
- ・各種アメニティー（洗顔クロス、ヘアバンド、スリッパ、アイマスクなど）
- ・テーブルリネン（テーブルクロス、ランチョンマット、ナプキン、コースターなど）
- ・ユニフォーム（Tシャツ、エプロン、シェフハット、作務衣など）
- ・台所用品（雑巾、ふきん、蜜蝋ラップなど）

事務所・工場

- ・各種ユニフォーム（シャツ、パンツ、スカート、キャップなど）
- ・休憩室（マスク、アンダーマスク、雑巾、ふきんなど）
- ・各種ノベルティ（はんかち、エコバッグ、巾着、手ぬぐい、ミサンガ、バンダナ、ストールなど）

〈CURETEX®〉を活用したビジネスモデル：STEP2



製造過程で発生する残布や使用後に回収した製品などを土壌に還すことで、
農薬に頼らない安心且つ栄養価の高い野菜を育てることが可能です。



5 か月で生分解が進みます

使用済みの製品を捨てずに、キュアテックスにお送りください。
製品を土に還します。

製造過程で発生するロスも、使用済みの製品も、優れた生分解性により〈CURETEX®〉は土に還っていきます。焼却処分や埋め立てを行わず、環境に配慮した処分方法を行うことにより、SDGsに貢献します。

また、〈CURETEX®〉は生分解される際に、土壌の微生物を活性化させ、土壌の改良に役立つ効果があります。

〈CURETEX®〉100%の農園芸資材〈キュアシート®〉は、土壌改良効果が認められ、特許を取得しています。



〈CURETEX®〉を活用したビジネスモデル：STEP3



収穫した野菜や加工食品を卸販売いたします



熊本にあるキッチンにて、ラーメンからスイーツまで、多種多様な食品を製造しています

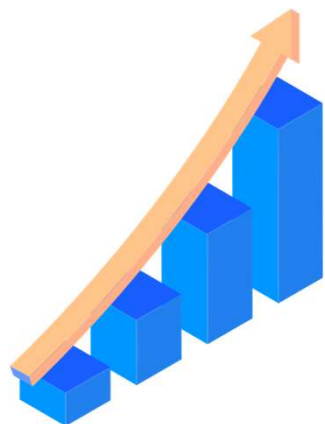
もちろん、育った野菜自体のご購入をいただくことも可能です。

加工食品や野菜を社員食堂や福利厚生にご活用いただければ、従業員みなさんがSDGsへの取り組みを実感でき、モチベーションアップにつながります。

収穫した野菜を調理・加工し、冷凍食品として卸販売いたします。ハラルヴィーガンといった食の多様性に配慮した加工食品のOEM製造も承っております。

（調理した際の野菜の皮や切りくずは、肥料として再利用しています。）工場や店舗で、ぜひご利用ください。





企業ブランド向上に寄与

投資家・融資機関へ

ESG投資やグリーンファンドなど、SDGsに貢献する取り組みは資金調達の選択肢を広げ、プラスに働きます



取引先・お客様へ

社外の人に見られる備品でアピールでき、循環スキームにおいて育った野菜やOEMした加工食品をメニューに盛り込めば、お客様に直接アピールすることも





従業員のロイヤルティ モチベーションがUP!

日々の仕事で

ユニフォームや作業着に導入することで、座学で研修を受けるよりも、SDGsへの貢献をより身近に感じられます



福利厚生の一環として

循環型スキームにおいて育てた野菜を社員に配布するなど、SDGsへの貢献が還元されることでより意識が高まります

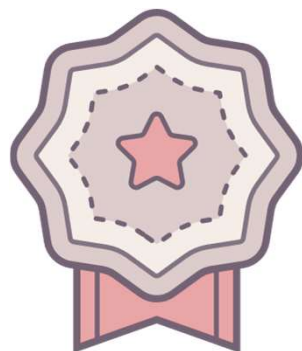




“SDGsウォッシュ”と呼ばれない 実効性と具体的な取り組み

国際的な評価

2025年 大阪・関西万博
「TEAM EXPO 2025」プ
ログラムの「共創チャレ
ンジ」に登録が承認され
ています。



エビデンスも明確

〈CURETEX®〉100%の
農園芸資材〈キュアシー
ト®〉は、土壌改良効果
が認められ、特許を取得
しています。



〈CURETEX®〉は“手軽さ”と“実効性”を重視しています

	〈CURETEX®〉	SDGs導入コンサルティング
導入ハードル	替えるアイテムを選ぶだけ 納品したその日からSDGs	数か月の要コンサル期間 社内浸透に時間もコストも必要
社内理解 トレーニング	使っているアイテムを替えるだけ 社内理解を促す研修等は不要	定期的な社内理解・浸透の 検証が必要
ビジネスへの 活用	加工食品や野菜を活かし、 既存新規問わず活用が可能	こじつけの宣伝行為や SDGsウォッシュに陥る可能性
実効性	取組の流れが明確で実践的	導入段階では不透明

サービス導入～それ以後の流れ



①＜お打ち合わせ＞

専任の担当が直接、あるいはオンラインで、貴社にあったご提案をいたします。



②＜製品の確定＞

ユニフォーム・エプロンといったアイテムの品目や数量の確定をいたします



③＜製造・納品＞

製造時の余り布量も土に還します。



④＜使用済みになった際＞

当社指定の農場へお送りください。



⑤＜栽培・収穫・加工＞

加工食品や収穫野菜の卸売をご検討の際はお申し付けください。

※ご要望に合わせて、栽培過程の写真や動画を共有いたします。

（PR等にご活用いただけます）

【お問い合わせ】



循環型未来共創プロジェクト運営事務局

junkan@curetex.jp

担当：河野・佐藤（典）・今井

株式会社キュアテックス

〒158-0092 東京都世田谷区野毛2-15-14 野毛テラス101

Tel：03-6411-6097 / Fax：03-6411-6098